序　新しい文明へ、自然文明へ、環流文明へ、生文明へ　染谷臣道　1

序　章　文明と自然――「環流文明」に寄せて　伊東俊太郎　15

第一章　科学・技術から未来文明を考える

科学技術はどこで間違えたのか――科学と技術と科学技術の違いから考える　原田憲一　24

無限のモデルから環流へ――技術、象徴、世界と市場への問い　犬塚潤一郎　45

第二期科学技術文明の胎動　神出瑞穂　69

第二章　枯渇する資源を越えた未来文明

工業文明の崩壊後に、人類はどういう文明で生存できるか

――「自然共生文明」の構想と枠組みについて　星野克美　96

絶望のアメリカ型収奪文明から希望の環流文明へ　金子晋右　111

第三章　精神文化から未来文明を考える
インド的循環のコスモロジーから何を学ぶか――「マンダラ的文明観」からの提言　保坂俊司　134
共存文明――ともにたもつ文明のかたち　濱田　陽　151
自然文明の構築に果たす日本文明の大いなる貢献　染谷臣道　168
終　章　環流文明はブレ文明のルネサンス　染谷臣道　191
終わりに　染谷臣道　195